

ステージは「音のおもちゃ箱」

カラン、コロン…。カウベルの音が一齐に鳴り響くと、見たこともないような不思議な楽器を奏でながら、だれかが行進してきた。

「ハーメルンの笛吹き」みたいだ。さあ「ロバの音楽座」の始まり、始まり…。

「ロバの音楽座」は、で、さまざま音を披露五人編成の楽団。子ども している。

えようと、一九八二年に 十三日から十七日まで たちに音楽の楽しさを伝 県内の小学校などで演奏 できた。中世やルネサソ 会を開いた。十六日、那 ス時代のヨーロッパで使 覇市の安謝児童館（前田 われていた古楽器を復元 保治館長）では、保育園 したもののや、世界各地の 児や地域のお年寄りたち 民俗楽器を演奏したり、 が、約一時間半のプロゲ 新聞紙などの身近な素材 ラムを奏しんだ。次から



次々と不思議な音が飛び出す「ロバの音楽座」の舞台に、子どもたちも大喜び。安謝児童館

次と、たくさんの珍しい いていてとても懐かしい 楽器でいろんな音を出す ような気持ちがあわいてく ステージは、まるで音の おもちゃ箱。大騒ぎをし っていた子どもたちも目を 輝かせ、夢中になっ

「びよよん、ぼよよん」と、とほけた音は たり、すり合わせたり、 びやぼん。セルパンは、 身近な素材を楽器に変 身させるコーナーでは、 新聞紙が大活躍。広げて 「ハタハタ」と音を出し

おじいさんごころか、美しい女の人を連想させる、繊細で優しい音色

珍しい楽器が次々と 「ロバの音楽座」演奏会



ヘビのような胴体から「ゾウのおなら」のような音が出るセルパン



復元古楽器を演奏する「ロバの音楽座」。左から2番目がプサルテリー

たよ。 リーダーの松本雅隆（がらう）さんによると、古楽器は動物の皮など自然の素材で作られたものがほとんど。そのせいでろうか、音は優しく、温かで、聞

細い胴がヘビのようによくピリッと破ったり…。新ねくねした管楽器だけ 聞紙一枚でいろんな音ど、太い音だ。会場の子がでてリコーダーもでき

きみの周りにも楽器に 変身したがついている物が きつとあるよ。探してみよう！